



11月の「出会い」と「別れ」校長 石岡秀久

11月は、様々な「出会い」と「別れ」が硫黄島でありました。学校では、キャリア教育の土元先生、教育実習生のくにあき先生が硫黄島を後にしました。

また、ジャンベ留學生のつねさん・はるかさんが卒業し、離島しました。今まで日常の中にあることが当然だった方々ですが、それぞれが硫黄島を離れ、それぞれの日常に帰っていかれました。寂しいですが、出会えたことに、一緒に過ごせたことに感謝したいと思います。

一方、新たな「出会い」もありました。「しおかぜ留學生」の体験を10月におこなった村松征家さんが転入してきました。7年生の釣り好きな明るい生徒さんです。

また、ALTのイアン先生も赴任されました。日常生活の日本語なら十分話せます。ゲームの好きな好青年です。2人に会う機会があると思いますので、地域の皆様、是非お声掛けください。どうぞよろしくお願い致します。

「しおかぜ留學生」の体験に千葉から中学2年生の室園拓海さんがお母様といらっしゃいました。天候の関係で2人とも予定より長い滞在になりましたが、「硫黄島」「硫黄島学園」を気に入っていただけただけです。

地域にも看護師の榊山さんがいらっしゃいました。離島医療、そして地域へ貢献してくださいと思います。

硫黄島では多くの「出会い」「別れ」があります。学校を卒業すると「15の島立ち」が待っています。地域の皆様がお持ちの力を今後ともより一層、子供へご注力いただくとありがたいです。三島硫黄島学園を今後ともよろしくお願いたします。



<Welcome! おさかなさん> ~漁業体験1-2~

経済課の宮原さんのご協力です。みしまⅡに乗って大海原へ！スジアラ、ユカタハタ、ヤガラ、・・・先日の体験学習がウソのような大漁でした。これからも、さかなとの出会いを待っています。



<いのちの授業> ~がん患者のこぼれ~

11月11日に合同授業が行われ、がん教育の一環として「いのちの授業」が行われました。がんサポートセンターの三好綾さんから、末期がん患者さんとの出会いと別れについてお話を聞きました。「いのちの大切さ」について改めて考えることができました。

<新しい留學生> ~釣り好きせいや~

愛知県から「村松征家さん」が転入してくれました。たいへん釣り好きです。見学の時にはチャイロマルハタを釣り、漁業体験では、スジアラとかキジハタを釣り上げていました。小牧さんと一緒に「メアジ」も釣り上げました。



<学校へ行こう!> ~お立ち寄り下さい~

「その11」ソフトボール対決!

11月3日に青年会とのソフトボール対決をおこないました。青年会の勝利に終わりましたがとても笑顔あふれる時間が過ぎました。青年会の皆さん、ありがとうございました。教職員チームはリベンジを目指しています。

ナイス
バッティング
大輔さん!



「その12」海岸清掃

PTAが中心となっておこないました。留學生の剣心君も参加してくれました。ウミガメが戻ってくるながはま湾を目指します。



「その13」硫黄島学園 持久走大会

昨年は、スターターを横山たけさんにしてもらいました。今年はランナーも募集しています。子どもたちと一緒に「風になりましょう」

「その14」芸術鑑賞会「ジャグリング教室」

12月15日10:30から体育館で、芸術鑑賞会「ジャグリング教室」を催しています。プロの技を見ることができます。体験教室もあります。



<硫黄島の宝> ~文化祭~

子どもたちの学習の成果を発表する文化祭ですが、今年もたくさんの参加をいただき大変盛り上がりしました。それぞれの学年での劇はもちろん、立命館の土元さんや教育実習のくにあき先生の参加や職員劇などもあり、楽しんでもらったのではないのでしょうか。

さらに、秀美さん、玉利さん、由美さん、アイバンさんに運営側としてお手伝いをいただきました。写真やビデオ撮影、音響調整をお願いしたところ、心よく引き受けて下さり、職員は子どもたちの指導に専念することができました。地域の方々と作り上げる学校行事が硫黄島の宝だと思います。次は持久走大会、どんな行事になるか楽しみです。



<またきてね> ~土元さん、くにあき先生、ジャンベ留學生のみなさん~

子どもたちとたくさん過ごしてくれました。それぞれ、立場は違う方々との出会いに子どもたちは、「大人もいろいろだな」ということを感じてくれたと思います。

別れの時には、みなさんへのメッセージを書いて渡していました。旅立つ時の挨拶では、全員が「またいつか、硫黄島に戻ってきます」と話してくれました。その想いが子どもたちの心には、きっと残っています。「ふるさと硫黄島」です。

